

# 栃木市消防団再編計画



栃 木 市



## 目次

### 第1章 基本的事項

1	計画策定の背景	1
2	計画策定の趣旨及び目的	1
3	計画の位置づけ	1
4	計画の期間	1
5	計画の推進体制	2

### 第2章 消防団及び地域の現状と課題

1	消防団を取り巻く環境	3
2	消防団の現況	5
3	消防団アンケート結果	15
4	自治会長アンケート結果	17
5	課題	23

### 第3章 消防団の組織再編

1	基本的な方針	24
2	消防団組織の再編	25
3	施設等の維持管理	44

# 第1章 基本的事項

## 1. 計画策定の背景

本市消防団は、合併後も旧市町の体制を引継ぎ、方面隊制により消防団活動を行ってきました。結果、団員定員1,239人、消防団車両83台、機械器具置場73箇所と県下有数の消防団組織となりました。

しかし、現在すでに人口減少の時代が到来しており、今後更に人口が減少していくことが予想され、また若年層の流出や就業構造の変化による団員のサラリーマン化が進み、地域によっては消防団組織が成り立たなくなることが懸念されております。

## 2. 計画策定の趣旨及び目的

人口減少や社会情勢等消防団を取り巻く環境は日々変化しており、本市消防団においても消防団員の確保及び車両等の資機材の維持が困難になりつつあります。そこで、限られた資源の中で本市消防団の使命である「市民の生命と財産を守ること」を、今後も継続し市民より期待される迅速で効率的な災害対応を行うため、指揮命令系統の一本化及び旧市町の境界にとらわれない出動体制を構築することを目的とします。

## 3. 計画の位置づけ

本計画は、平成28年に策定した栃木市消防団充実強化策内「消防団の充実強化に向けた施策」において示した「消防団組織の充実と再編」の実現を目指すものであり、消防団の組織及び人的な再編とともに車両や機械器具置場についても、統合などを図り人的・物的に効率的な運用を図るための再編計画となります。

## 4. 計画の期間

本計画は、2018年度（平成30年度）から2020年度までの3カ年計画とし、必要に応じて期間を延長するものとし、その他社会情勢等の変化に応じて見直しを行うものとし、

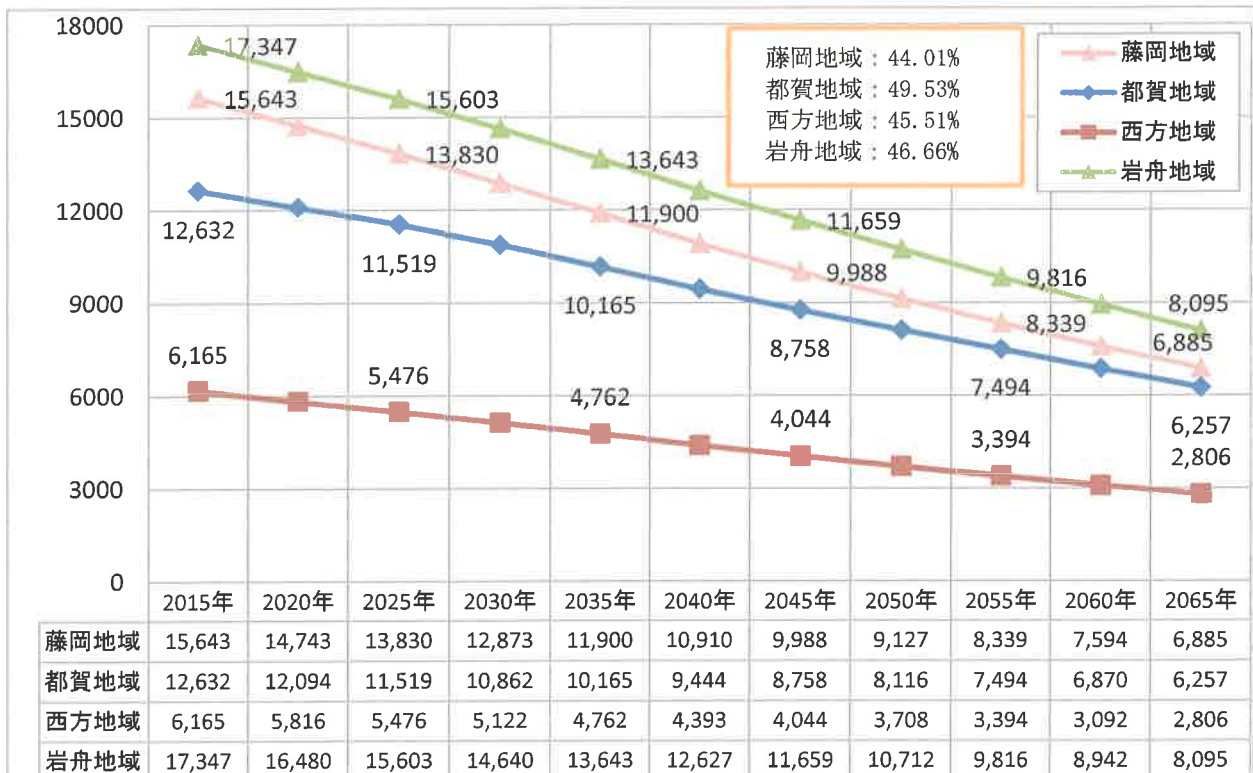
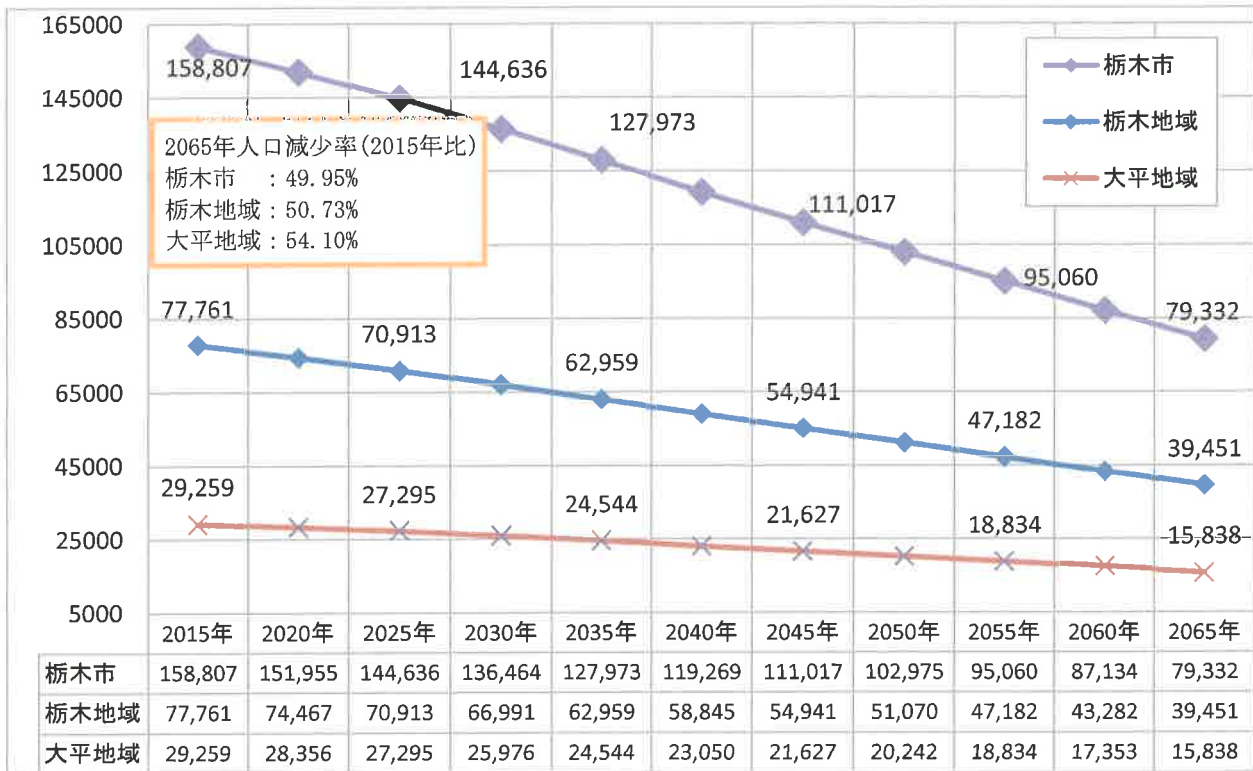
## 5. 計画の推進体制

消防団組織の再編は、消防団自身が考え、行動することを行政がバックアップするのが基本であり、計画の推進についても消防団が主体となります。市は関係者との調整等、環境整備が役割となるため、地域の実情を把握し、管轄する分団・部、また近接する分団の意見を尊重するとともに、自治会との調整を図りながら、住民の合意形成を得るよう努めます。

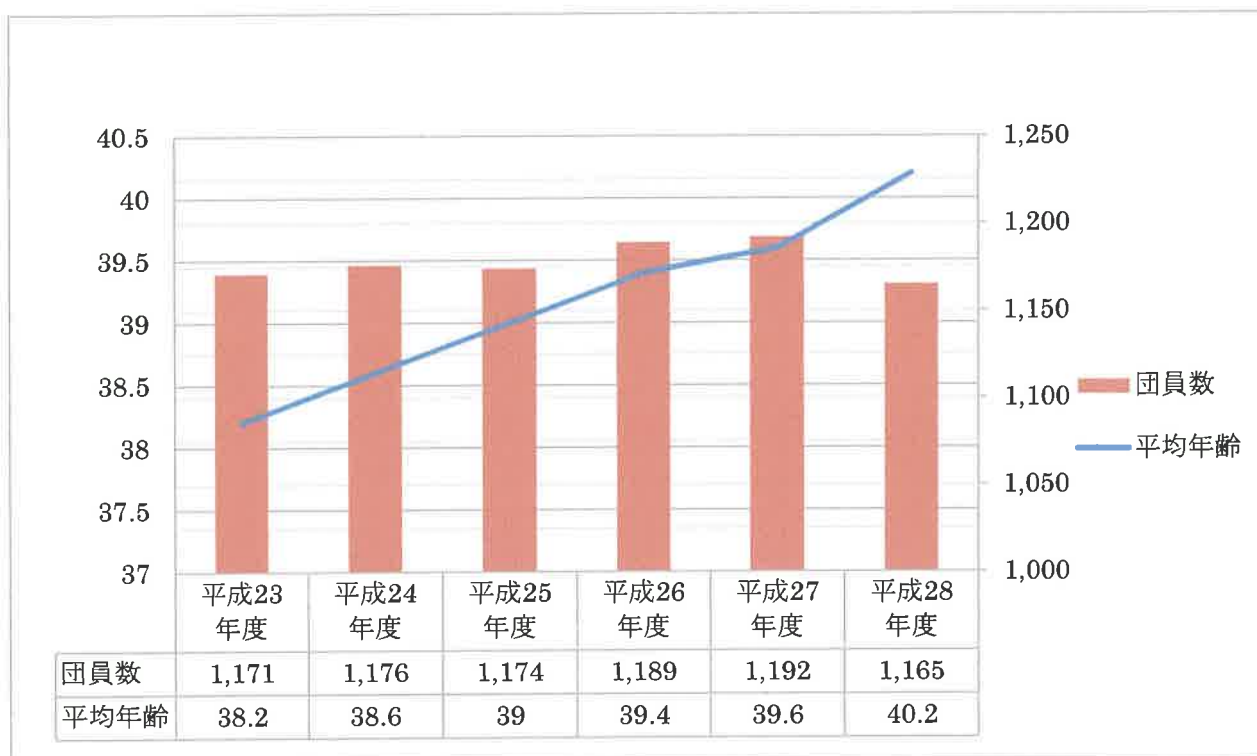
## 第2章 消防団及び地域の現状と課題

### 1. 消防団を取り巻く環境

(1) 将来の人口推計（※合計特殊出生率が現在と同水準で推移した場合の人口推計）

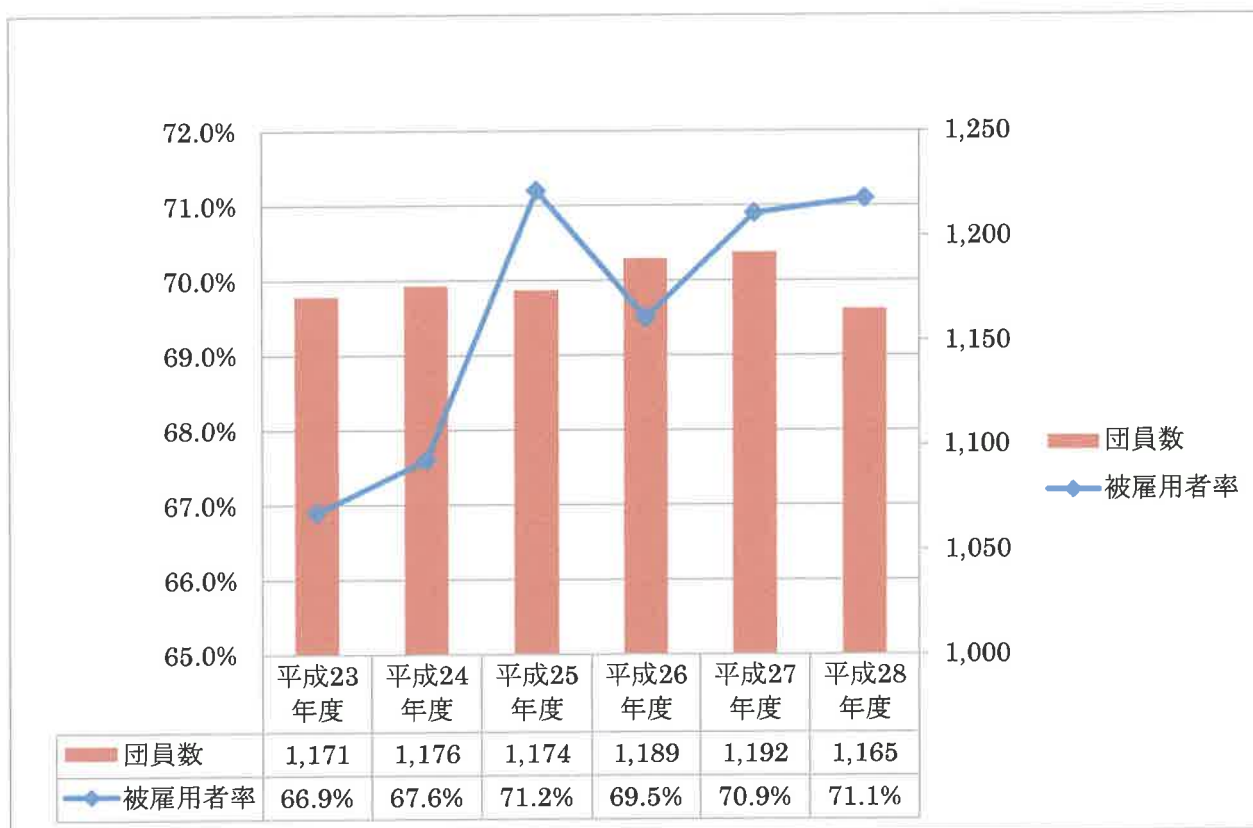


(2) 団員数と平均年齢の推移



※ 団員数はほぼ横ばいであるが、平均年齢が上昇している。

(3) 団員の被雇用者率の推移



※ 団員数はほぼ横ばいであるが、被雇用者率が上昇している。





## (2) 栃木市消防団組織体制

平成 29 年 4 月 1 日現在 (人)

階級(職) 配置	団長	副団長 (方面隊長)	副団長 (方面隊 副隊長)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計(※)	条例定員	
	団本部	1	6	12						19	19
女性分団						1	2	13	16	20	
栃木方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	2	4	2	10 (13)	12 (15)
	第1分団				1	1	2	5	10	19	21
	第2分団				1	1	2	5	13	22	24
	第3分団				1	1	2	5	6	15	21
	第4分団				1	1	2	5	10	19	25
	第5分団				1	1	2	5	14	23	25
	第6分団				1	1	2	5	23	32	33
	第7分団				1	1	2	5	11	20	21
	第8分団				1	1	4	12	36	54	62
	第9分団				1	1	4	12	43	61	62
	第10分団				1	1	4	12	43	61	62
	第11分団				1	1	5	15	50	72	77
	第12分団				1	1	4	12	44	62	62
	実員計		(1)	(2)	13	13	37	102	305	470 (473)	507 (510)
大平方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	1	1	6	10 (13)	10 (13)
	第1分団				1	1	5	5	47	59	62
	第2分団				1	1	4	4	39	49	50
	第3分団				1	1	4	4	40	50	50
	実員計		(1)	(2)	4	4	14	14	132	168 (171)	172 (175)
藤岡方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	1	1	6	10 (13)	8 (11)
	第1分団				1	1	2	2	28	34	34
	第2分団				1	1	2	2	28	34	34
	第3分団				1	1	2	2	27	33	34
	第4分団				1	1	2	2	27	33	34
	実員計		(1)	(2)	5	5	9	9	116	144 (147)	144 (147)
都賀方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	1	1	2	6 (9)	6 (9)
	第1分団				1	1	2	4	20	28	28
	第2分団				1	1	1	2	13	18	18
	第3分団				1	1	1	2	13	18	18
	第4分団				1	1	2	4	20	28	28
	実員計		(1)	(2)	5	5	7	13	68	98 (101)	98 (101)

西方方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	2	2	3	9 (12)	10 (13)
	第1分団				1	1	1	2	14	19	19
	第2分団				1	1	2	4	17	25	34
	第3分団				1	1	2	4	22	30	32
	第4分団				1	1	1	2	20	25	25
	実員計		(1)	(2)	5	5	8	14	76	108 (111)	120 (123)
岩舟方面隊	本部分団		(1)	(2)	1	1	1			3 (6)	3 (6)
	第1分団				1	1	3	3	37	45	47
	第2分団				1	1	3	3	36	44	47
	第3分団				1	1	4	4	49	59	62
		実員計		(1)	(2)	4	4	11	10	122	151 (154)
合計		1	6(6)	12(12)	36	36	87	164	832	1,156(1,174)	1,221(1,239)

※方面隊長と方面隊副隊長を含んだ人数

## (3) 栃木市消防団機械器具置場一覧

平成 29 年 4 月 1 日現在

No.	方面隊	分団部名	建物構造	経過年数
1	栃木	本部分団	木造	22
2	栃木	第 1 分団	鉄骨	29
3	栃木	第 2 分団 本部分団	鉄筋コンクリート	27
4	栃木	第 3 分団	鉄骨造	12
5	栃木	第 4 分団	鉄骨	30
6	栃木	第 5 分団	木造	24
7	栃木	第 6 分団	木造	28
8	栃木	第 7 分団	鉄骨造	7
9	栃木	第 8 分団第 1 部	コンクリートブロック	36
10	栃木	第 8 分団第 2 部	補強コンクリートブロック	37
11	栃木	第 8 分団第 3 部	補強コンクリートブロック	32
12	栃木	第 8 分団第 4 部	補強コンクリートブロック	39
13	栃木	第 9 分団第 1 部	補強コンクリートブロック	39
14	栃木	第 9 分団第 2 部	補強コンクリートブロック	33
15	栃木	第 9 分団第 3 部	補強コンクリートブロック	42
16	栃木	第 9 分団第 4 部	補強コンクリートブロック	42
17	栃木	第 10 分団第 1 部	コンクリートブロック	36
18	栃木	第 10 分団第 2 部	補強コンクリートブロック	38
19	栃木	第 10 分団第 3 部	補強コンクリートブロック	37
20	栃木	第 10 分団第 4 部	補強コンクリートブロック	35
21	栃木	第 11 分団第 1 部	木造	20
22	栃木	第 11 分団第 2 部	木造	26
23	栃木	第 11 分団第 3 部	鉄骨造	1
24	栃木	第 11 分団第 4 部	補強コンクリートブロック	31
25	栃木	第 11 分団第 5 部	補強コンクリートブロック	29
26	栃木	第 12 分団第 1 部	補強コンクリートブロック	35
27	栃木	第 12 分団第 2 部	補強コンクリートブロック	38
28	栃木	第 12 分団第 3 部	補強コンクリートブロック	31
29	栃木	第 12 分団第 4 部	鉄骨	30
30	大平	第 1 分団第 1 部 本部分団	鉄骨造	32
31	大平	第 1 分団第 2 部	鉄骨造	30
32	大平	第 1 分団第 3 部	鉄骨造	33
33	大平	第 1 分団第 4 部	鉄骨造	28
34	大平	第 1 分団第 5 部	鉄骨造	29
35	大平	第 2 分団第 1 部	鉄骨造	27

36	大平	第2分団第2部	コンクリートブロック造 (軽ブロック)	38
37	大平	第2分団第3部	鉄骨造	34
38	大平	第2分団第4部	鉄骨造	29
39	大平	第3分団第1部	鉄骨造	33
40	大平	第3分団第2部	鉄骨造	9
41	大平	第3分団第3部	鉄骨造	32
42	大平	第3分団第4部	鉄骨造	31
43	藤岡	第1分団第1部	木造	29
44	藤岡	第1分団第2部	木造	35
45	藤岡	第2分団第1部	鉄骨及び軽量鉄骨	48
46	藤岡	第2分団第2部	木造	26
47	藤岡	第3分団第1部	木造	28
48	藤岡	第3分団第2部	木造	34
49	藤岡	第4分団第1部	木造	27
50	藤岡	第4分団第2部	木造	32
51	都賀	第1分団第1部	鉄骨造	32
52	都賀	第1分団第2部	鉄骨造	30
53	都賀	第2分団	鉄骨造	3
54	都賀	第3分団	鉄骨造	28
55	都賀	第4分団第1部	鉄骨造	30
56	都賀	第4分団第2部	軽量ブロック造	50
57	西方	第1分団	鉄骨造	24
58	西方	第2分団第1部	鉄骨造	17
59	西方	第2分団第2部	鉄骨造	25
60	西方	第3分団第1部	鉄骨造	35
61	西方	第3分団第2部	鉄骨造	23
62	西方	第4分団	鉄骨造	19
63	岩舟	本部分団	鉄骨造	10
64	岩舟	第1分団第1部	木造	30
65	岩舟	第1分団第2部	木造	25
66	岩舟	第1分団第3部	木造	29
67	岩舟	第2分団第1部	木造	20
68	岩舟	第2分団第2部	木造	20
69	岩舟	第2分団第3部	木造	27
70	岩舟	第3分団第1部	木造	26
71	岩舟	第3分団第2部	木造	19
72	岩舟	第3分団第3部	木造	24
73	岩舟	第3分団第4部	木造	17

## (4) 栃木市消防団消防車両一覧

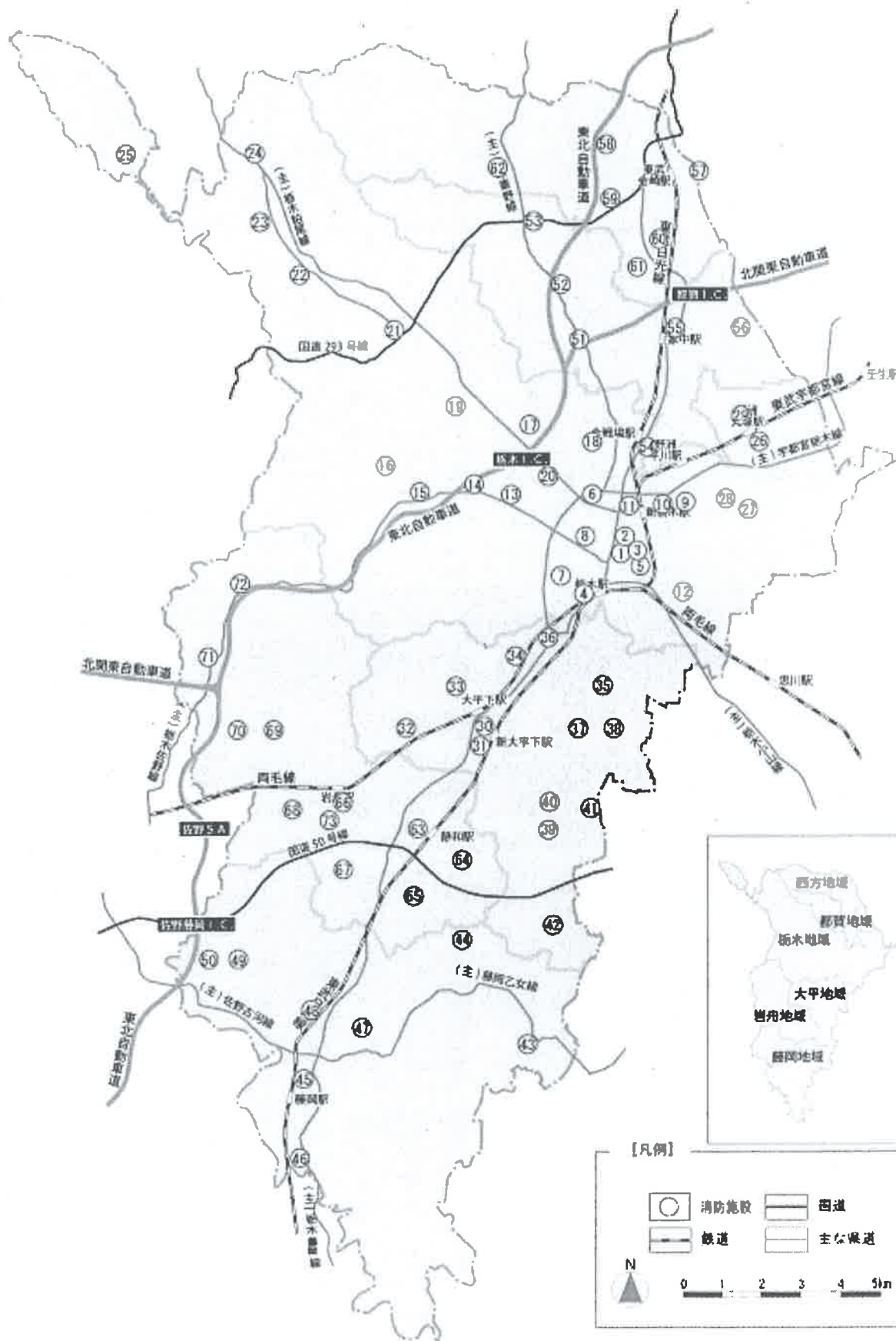
平成 29 年 4 月 1 日現在

No.	方面隊	分団部名	車両の種別	経過年数
1		団本部	指揮連絡車	2
2		団本部	指揮連絡車	16
3	栃木	本部分団	指揮車	13
4	栃木	本部分団	指揮連絡車	4
5	栃木	第 1 分団	消防ポンプ車	14
6	栃木	第 2 分団	消防ポンプ車	12
7	栃木	第 3 分団	消防ポンプ車	16
8	栃木	第 4 分団	消防ポンプ車	7
9	栃木	第 5 分団	消防ポンプ車	5
10	栃木	第 6 分団	消防ポンプ車	4
11	栃木	第 7 分団	消防ポンプ車	3
12	栃木	第 8 分団第 1 部	消防ポンプ車	6
13	栃木	第 8 分団第 2 部	消防ポンプ車	18
14	栃木	第 8 分団第 3 部	消防ポンプ車	16
15	栃木	第 8 分団第 4 部	消防ポンプ車	8
16	栃木	第 9 分団第 1 部	消防ポンプ車	8
17	栃木	第 9 分団第 2 部	消防ポンプ車	6
18	栃木	第 9 分団第 3 部	消防ポンプ車	5
19	栃木	第 9 分団第 4 部	小型動力ポンプ	9
			小型動力ポンプ積載車	9
20	栃木	第 10 分団第 1 部	消防ポンプ車	9
21	栃木	第 10 分団第 2 部	消防ポンプ車	5
22	栃木	第 10 分団第 3 部	小型動力ポンプ	14
			小型動力ポンプ積載車	14
23	栃木	第 10 分団第 4 部	消防ポンプ車	2
24	栃木	第 11 分団第 1 部	小型動力ポンプ	14
			小型動力ポンプ積載車	14
25	栃木	第 11 分団第 2 部	消防ポンプ車	18
26	栃木	第 11 分団第 3 部	消防ポンプ車	7
27	栃木	第 11 分団第 4 部	小型動力ポンプ	10
			小型動力ポンプ積載車	10
28	栃木	第 11 分団第 5 部	小型動力ポンプ	12
			小型動力ポンプ積載車	12
29	栃木	第 12 分団第 1 部	消防ポンプ車	10
30	栃木	第 12 分団第 2 部	消防ポンプ車	4

31	栃木	第1分団第3部	小型動力ポンプ	15
			小型動力ポンプ積載車	15
32	栃木	第1分団第4部	小型動力ポンプ	12
			小型動力ポンプ積載車	12
33	大平	本部分団	指揮連絡車	19
34	大平	第1分団第1部	消防ポンプ車	15
35	大平	第1分団第2部	消防ポンプ車	13
36	大平	第1分団第3部	消防ポンプ車	11
37	大平	第1分団第4部	消防ポンプ車	7
38	大平	第1分団第5部	消防ポンプ車	10
39	大平	第2分団第1部	消防ポンプ車	18
40	大平	第2分団第2部	消防ポンプ車	15
41	大平	第2分団第3部	消防ポンプ車	13
42	大平	第2分団第4部	消防ポンプ車	7
43	大平	第3分団第1部	消防ポンプ車	17
44	大平	第3分団第2部	消防ポンプ車	8
45	大平	第3分団第3部	消防ポンプ車	17
46	大平	第3分団第4部	消防ポンプ車	9
47	藤岡	本部分団	指揮連絡車	19
48	藤岡	第1分団第1部	水槽付ポンプ車	10
49	藤岡	第1分団第2部	小型動力ポンプ	3
		第1分団第2部(貸与)	小型動力ポンプ積載車	3
50	藤岡	第2分団第1部	消防ポンプ車	1
51	藤岡	第2分団第2部	小型動力ポンプ	14
			小型動力ポンプ積載車	14
52	藤岡	第3分団第1部	水槽付ポンプ車	9
53	藤岡	第3分団第2部	小型動力ポンプ	16
			小型動力ポンプ積載車	16
54	藤岡	第4分団第1部	水槽付ポンプ車	13
55	藤岡	第4分団第2部	小型動力ポンプ	15
			小型動力ポンプ積載車	15
56	都賀	本部分団	指揮連絡車	3
57	都賀	第1分団第1部	小型動力ポンプ	3
			小型動力ポンプ積載車	17
58	都賀	第1分団第2部	消防ポンプ車	13
59	都賀	第2分団	消防ポンプ車	3
60	都賀	第3分団	消防ポンプ車	18
61	都賀	第4分団第1部	消防ポンプ車	14

62	都賀	第4分団第2部	小型動力ポンプ	17
			小型動力ポンプ積載車	17
63	西方	本部分団	指揮連絡車	15
64	西方	本部分団	小型動力ポンプ	17
			小型動力ポンプ積載車	17
65	西方	第1分団	消防ポンプ車	6
66	西方	第2分団第1部	小型動力ポンプ	7
			小型動力ポンプ積載車	7
67	西方	第2分団第2部	消防ポンプ車	9
68	西方	第3分団第1部	小型動力ポンプ	17
			小型動力ポンプ積載車	17
69	西方	第3分団第2部(貸与)	小型動力ポンプ	1
			小型動力ポンプ積載車	1
70	西方	第4分団	小型動力ポンプ	8
			小型動力ポンプ積載車	8
71	西方	第4分団	小型動力ポンプ	8
			小型動力ポンプ積載車	8
72	岩舟	本部分団	指揮連絡車	4
73	岩舟	第1分団第1部	水槽付ポンプ車	12
74	岩舟	第1分団第2部	消防ポンプ車	7
75	岩舟	第1分団第3部	消防ポンプ車	5
76	岩舟	第2分団第1部	水槽付ポンプ車	15
77	岩舟	第2分団第2部	消防ポンプ車	15
78	岩舟	第2分団第3部	消防ポンプ車	8
79	岩舟	第3分団第1部	消防ポンプ車	5
80	岩舟	第3分団第2部	消防ポンプ車	16
81	岩舟	第3分団第3部	消防ポンプ車	6
82	岩舟	第3分団第4部	消防ポンプ車	16
83		女性分団	指揮連絡車	1

(5) 栃木市消防団機械器具置場位置図



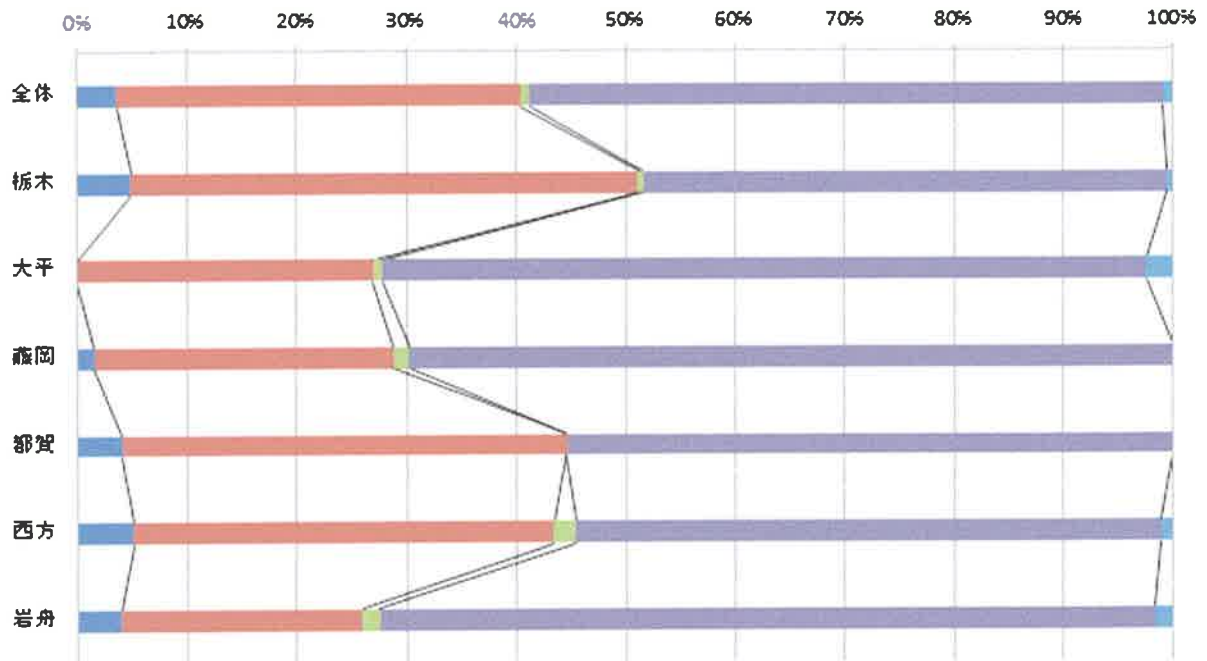


番号	施設名	番号	施設名	番号	施設名
①	栃木方面隊本部分団	②	栃木方面隊第1分団	③	栃木方面隊第2分団
④	栃木方面隊第3分団	⑤	栃木方面隊第4分団	⑥	栃木方面隊第5分団
⑦	栃木方面隊第6分団	⑧	栃木方面隊第7分団	⑨	栃木方面隊第8分団第1部
⑩	栃木方面隊第8分団第2部	⑪	栃木方面隊第8分団第3部	⑫	栃木方面隊第8分団第4部
⑬	栃木方面隊第9分団第1部	⑭	栃木方面隊第9分団第2部	⑮	栃木方面隊第9分団第3部
⑯	栃木方面隊第9分団第4部	⑰	栃木方面隊第10分団第1部	⑱	栃木方面隊第10分団第2部
⑲	栃木方面隊第10分団第3部	⑳	栃木方面隊第10分団第4部	㉑	栃木方面隊第11分団第1部
㉒	栃木方面隊第11分団第2部	㉓	栃木方面隊第11分団第3部	㉔	栃木方面隊第11分団第4部
㉕	栃木方面隊第11分団第5部	㉖	栃木方面隊第12分団第1部	㉗	栃木方面隊第12分団第2部
㉘	栃木方面隊第12分団第3部	㉙	栃木方面隊第12分団第4部	⑳	大平方面隊第1分団第1部
㉛	大平方面隊第1分団第2部	㉜	大平方面隊第1分団第3部	㉝	大平方面隊第1分団第4部
㉞	大平方面隊第1分団第5部	㉟	大平方面隊第2分団第1部	㊱	大平方面隊第2分団第2部
㊲	大平方面隊第2分団第3部	㊳	大平方面隊第2分団第4部	㊴	大平方面隊第3分団第1部
㊵	大平方面隊第3分団第2部	㊶	大平方面隊第3分団第3部	㊷	大平方面隊第3分団第4部
㊸	藤岡方面隊第1分団第1部	㊹	藤岡方面隊第1分団第2部	㊺	藤岡方面隊第2分団第1部詰所・車庫
㊻	藤岡方面隊第2分団第2部	㊼	藤岡方面隊第3分団第1部	㊽	藤岡方面隊第3分団第2部
㊾	藤岡方面隊第4分団第1部	㊿	藤岡方面隊第4分団第2部	①	都賀方面隊第1分団第1部
②	都賀方面隊第1分団第2部	③	都賀方面隊第2分団	④	都賀方面隊第3分団
⑤	都賀方面隊第4分団第1部	⑥	都賀方面隊第4分団第2部	⑦	西方方面隊第1分団
⑧	西方方面隊第2分団第1部	⑨	西方方面隊第2分団第2部	⑩	西方方面隊第3分団第1部
⑪	西方方面隊第3分団第2部	⑫	西方方面隊第4分団	⑬	岩舟方面隊第1分団第1部
⑭	岩舟方面隊第1分団第2部	⑮	岩舟方面隊第1分団第3部	⑯	岩舟方面隊第2分団第1部
⑰	岩舟方面隊第2分団第2部	⑱	岩舟方面隊第2分団第3部	⑲	岩舟方面隊第3分団第1部
⑳	岩舟方面隊第3分団第2部	㉑	岩舟方面隊第3分団第3部	㉒	岩舟方面隊第3分団第4部
㉓	岩舟方面隊本部分団				

### 3. 消防団アンケート結果（抜粋）

【実施概要】対象者：消防団員(平成28年度実員1,158名)  
 調査方法：分団毎にとりまとめ  
 調査期間：平成28年1月～2月末日  
 回収結果：1,158名中1,006名(87%)

問22 将来の団員確保について、あなたのお考えをお聞かせください。



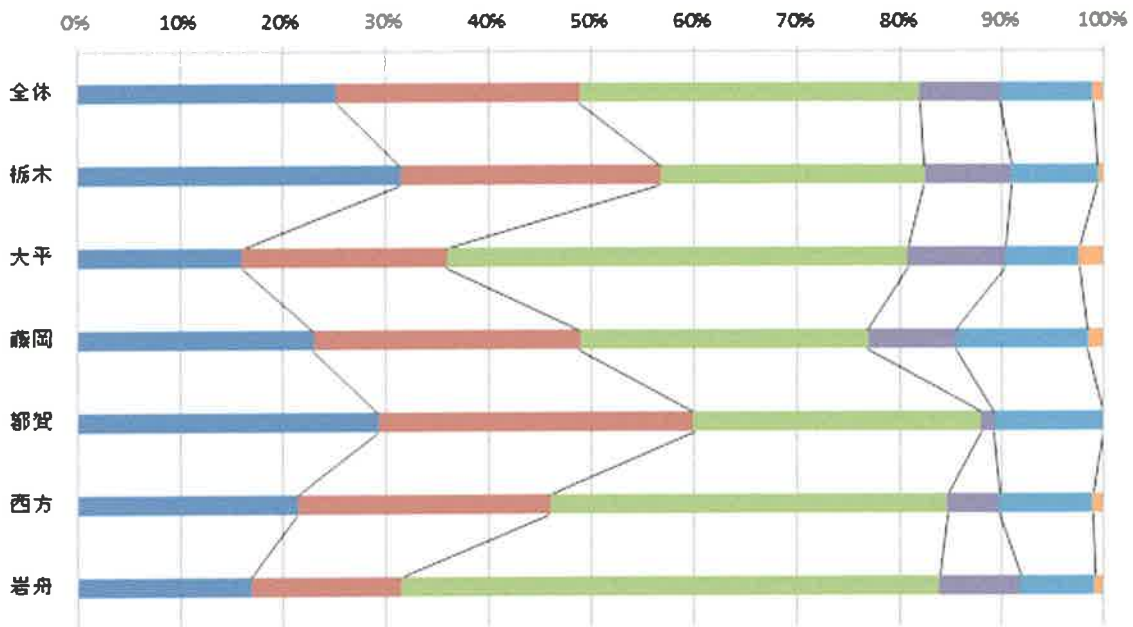
単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：定員確保可能	3	5	0	1	4	5	4
2：今後は厳しい	37	46	27	27	41	38	22
3：明るい兆しが見える	1	0	1	1	0	2	2
4：更に厳しい	58	48	70	70	55	54	71
5：その他	1	0	2	0	0	1	2

※割合は四捨五入により求めた数字

- 「今後は厳しい」、「更に厳しい」が9割を占める。
- 団員確保について、かなり厳しい状況を団員も感じており、何らかの対策を講じる必要がある。

問 23 将来の消防団組織についてどのように考えていますか。



単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：現状維持	25	31	16	23	29	21	17
2：OB 団員で定員充足	24	25	20	26	31	24	15
3：統廃合の推進	33	26	45	28	28	39	52
4：方面隊の枠を超えた再編	8	9	10	9	1	5	8
5：女性を増員させ男性と活動	9	9	7	13	11	9	7
6：その他	1	0	2	1	0	1	1

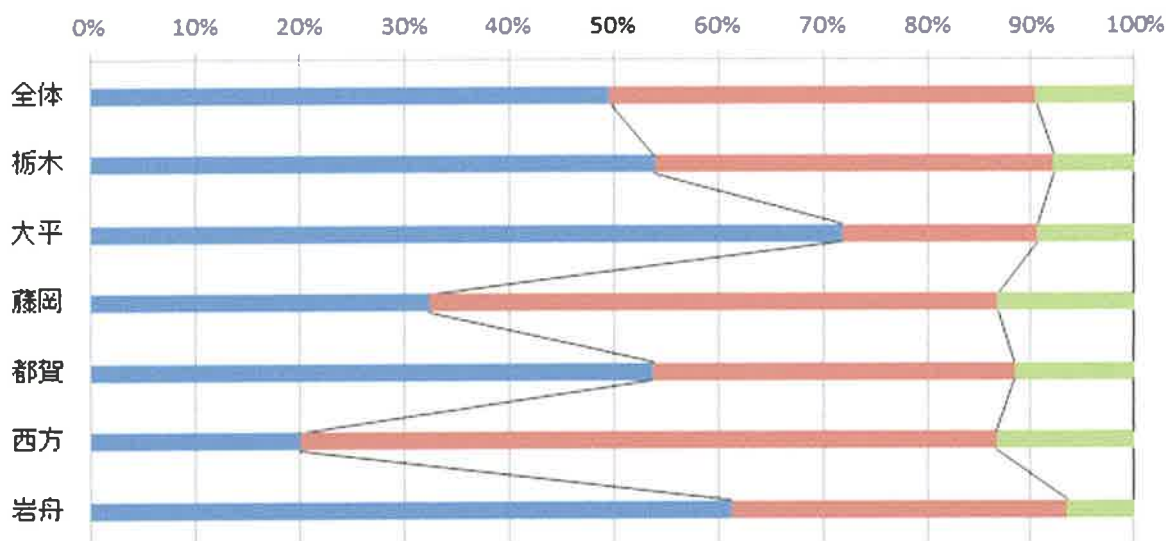
※割合は四捨五入により求めた数字

- 「現状維持」、「OB 団員で定員充足」、「統廃合の推進」がほぼ同数となっている。
- 今後、機能別消防団員及び分団・部の統廃合について検討していく必要がある。

#### 4. 自治会長アンケート結果（抜粋）

【実施概要】対象者：市内自治会長  
 調査方法：郵送による配布・回収  
 調査期間：平成28年9月上旬～10月上旬  
 回収結果：全447自治会中340自治会（71%）

問5 現在、貴自治会は消防団員の確保に関わっていますか？



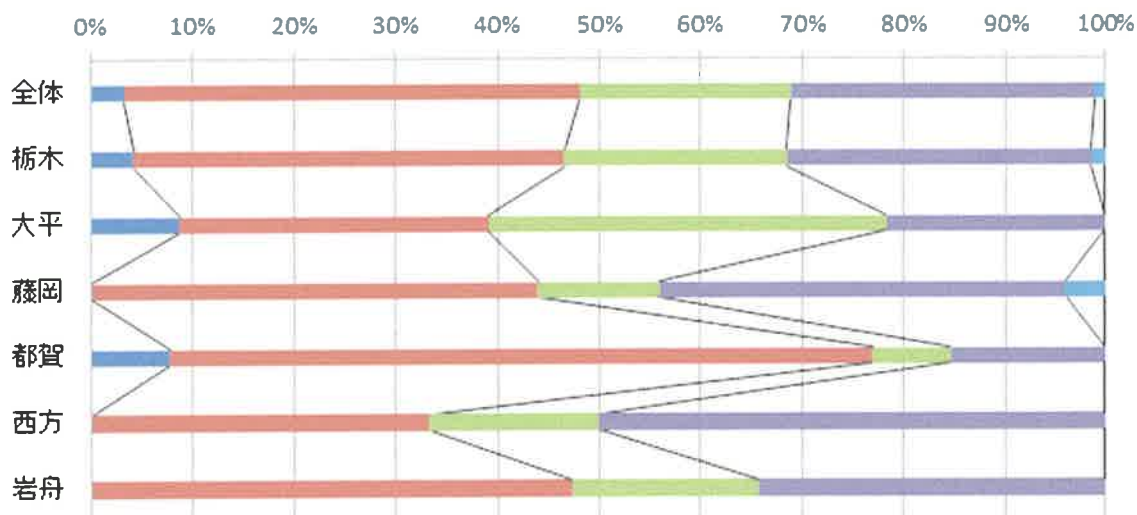
単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：はい	50	54	72	32	54	20	61
2：いいえ	41	38	19	54	35	67	32
3：分からない	10	8	9	13	12	13	6

※割合は四捨五入により求めた数字

●消防団員の確保と自治会の関わりは、方面隊により差異があり、全体では半数の自治会が関わっている。

問 5-6 団員確保の今後の見通しはどうか？  
(当てはまるものを一つお選びください)



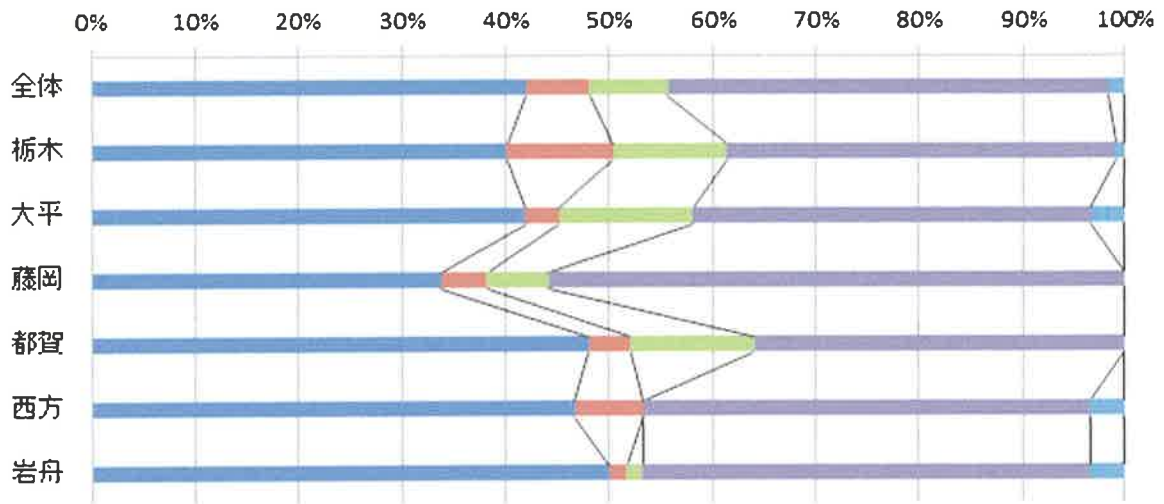
単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：今後も確保できる	3	4	9	0	8	0	0
2：今後は厳しい	45	42	30	44	69	33	47
3：すでに厳しい	21	22	39	12	8	17	18
4：今後は更に厳しい	30	30	22	40	15	50	34
5：その他	1	1	0	4	0	0	0

※割合は四捨五入により求めた数字

●団員確保の見通しについて、「今後も確保できる」との回答は全体の3%で、多くは「すでに厳しい」もしくは「今後は厳しい」と回答している。

問8 貴自治会を管轄する分団・部の規模（定数）は適正であると思いますか？  
（当てはまるものをお選びください）



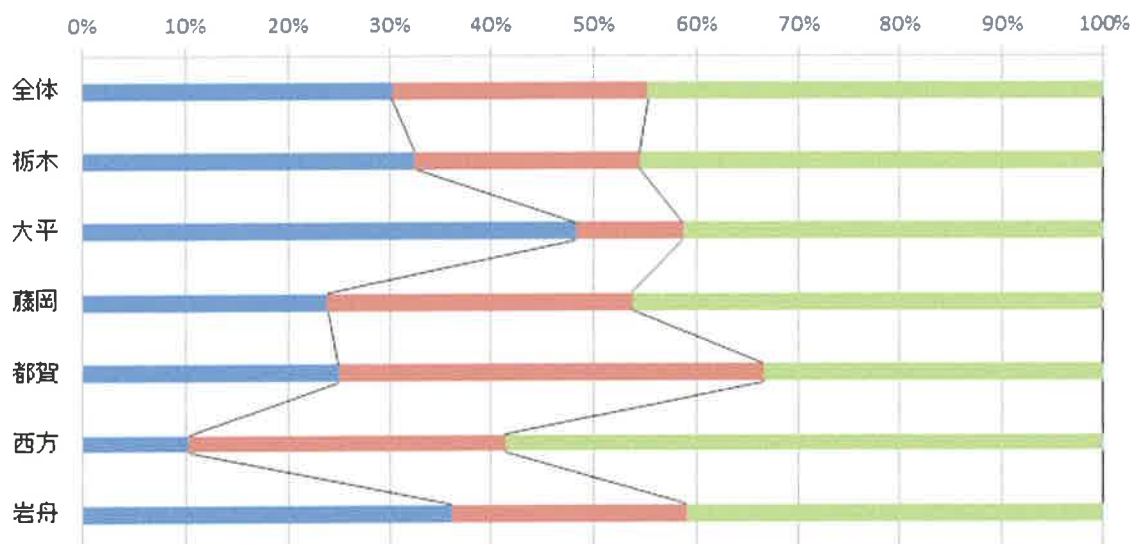
単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：適正である	42	40	42	34	48	47	50
2：小さい（少ない）	6	10	3	4	4	7	2
3：大きい（多い）	8	11	13	6	12	0	2
4：分からない	43	38	39	56	36	43	44
5：その他	1	1	3	0	0	3	3

※割合は四捨五入により求めた数字

●分団・部の規模については、適正である、分からないという回答がほぼ同数である。

**問 9** 貴自治会を管轄する分団・部の枠組みを見直す必要があると思いますか？  
(当てはまるものを一つお選びください)



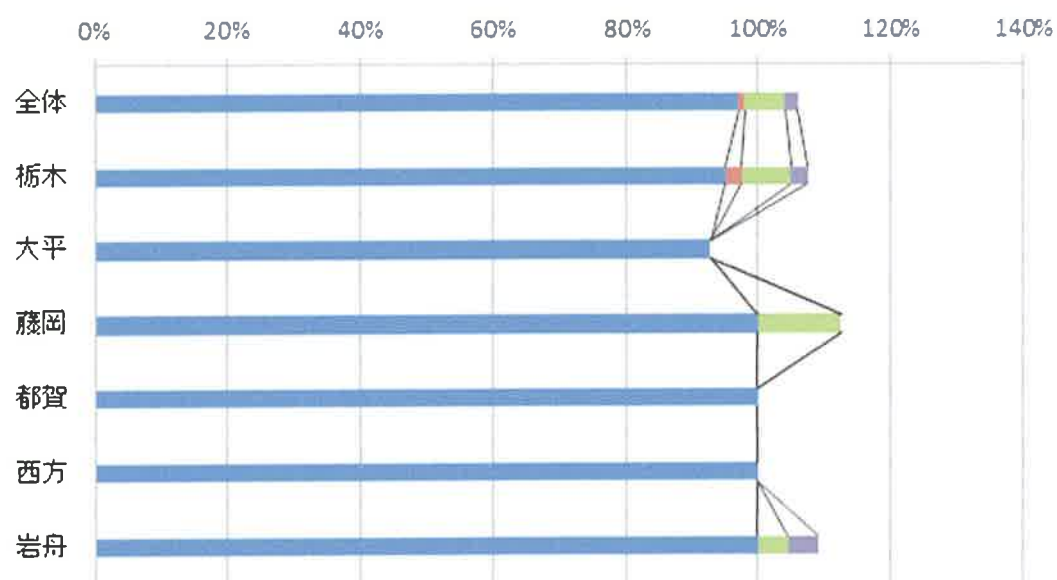
単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：ある	30	33	48	24	25	10	36
2：ない	25	22	10	30	42	31	23
3：わからない	45	46	41	46	33	59	41

※割合は四捨五入により求めた数字

●分団・部の見直しについては、全体の30%が必要あり、25%が必要なしと回答している。

**問 9-1** それはなぜですか？(当てはまるものをすべてお選びください)



単位：%

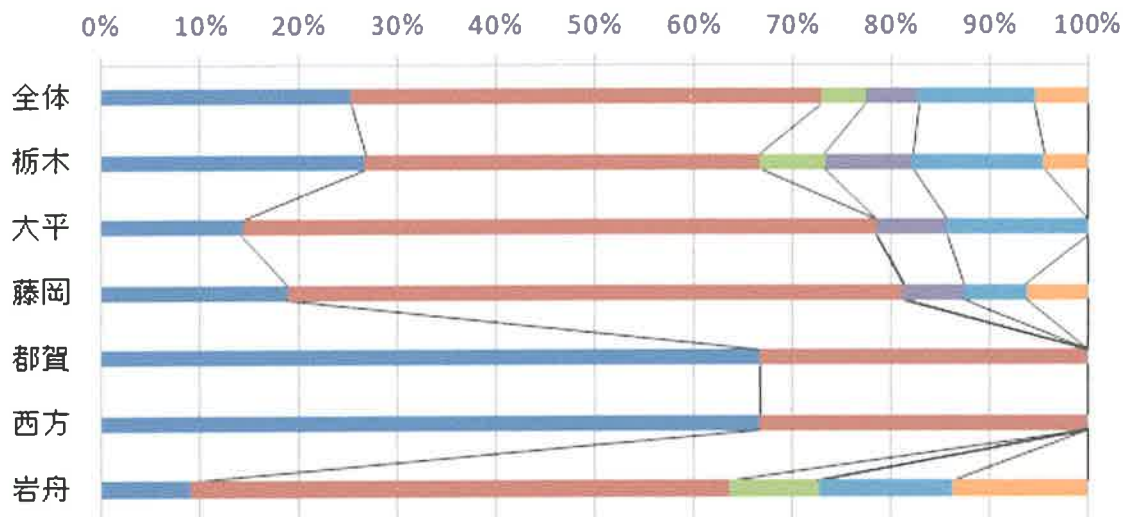
	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：団員確保が難しい	97	95	93	100	100	100	100
2：団員確保の見通しが明るい	1	3	0	0	0	0	0
3：管轄面積が小さい	6	8	0	13	0	0	5
4：管轄面積が大きい	2	3	0	0	0	0	5

※割合は四捨五入により求めた数字

●問 9 において、組織の見直しが必要と回答した自治会のうち、見直しの理由として、ほぼ 100% が団員の確保が難しいと回答している。



問9-2 組織の見直しは、どのようにしたら良いと思いますか？  
(当てはまるものを一つお選びください)



単位：%

	全体	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
1：統合する(団員総数は変えない)	25	27	14	19	67	67	9
2：統合する(団員総数も減らす)	48	40	64	63	33	33	55
3：新たに創設	5	7	0	0	0	0	9
4：定数を増やす	5	9	7	6	0	0	0
5：定数を減らす	12	13	14	6	0	0	14
6：その他	5	4	0	6	0	0	14

※割合は四捨五入により求めた数字

●問9において、組織の見直しが必要と回答した自治会のうち、見直しの方法としては、全体の約半数が定数を減らして統合する、25%が定数を変えずに統合する、と回答している。

## 5. 課題

### (1) 消防団員の確保

栃木市の将来の人口推計に示されるとおり、本市においてもすでに人口減少の時代が到来しており、今後も人口が減少していくことが予想され、また若年層の流出や就業構造の変化による団員のサラリーマン化が進み、地域によっては地域活動に対する意識の希薄化等により団員の確保が困難になっています。

### (2) 指揮命令系統の一本化

現在、合併前の旧市町の枠組みで6つの方面隊により消防団を組織しておりますが、より一層迅速で効率的な災害対応を行うため、指揮命令系統の一本化を図り、方面隊制について検討することが必要です。

### (3) 出動区域の見直し

本市消防団においては、社会情勢や就業構造の変化により消防団員のサラリーマン化が進んでおり、今後も被雇用者の割合は増加することが見込まれるため、特に日中の災害対応に支障をきたすことが懸念されます。

このため、旧市町の区域を越えた柔軟で効率的な出動体制を構築し、消防力の維持に努める必要があります。

### (4) 分団・部の統合等及び消防団員数の見直し

現在、多くの分団・部で団員確保に苦慮しています。そこで、分団・部を支える母体を大きくし、団員を確保しやすい環境を整えるため、統合等を視野に入れた検討を行い、同時に定員を見直すことにより、消防団組織の維持を目指す必要があります。

また、階級構成に地域格差があるため、統一を図る必要があります。

### (5) 消防団施設等の老朽化

消防団機械器具置場及び消防団車両は、使用年数の長期化が顕著となっており、全体的に老朽化が進んでおります。これに伴い、機械器具置場の維持管理における消防団員の負担増加や車両老朽化による消防力の低下が危惧されることから、消防団施設等を更新する必要があります。

## 第3章 消防団の組織再編

### 1. 基本的な方針

#### (1) 消防団員の確保

人口減少、若年層の流出及び就業構造の変化等により消防団員の確保が困難になっているため、平成28年7月に栃木市消防団サポート事業を開始し、平成29年4月に機能別消防団員制度を導入するなど団員の確保に努めておりますが、未だ団員確保に苦慮している分団・部があることから、今後もこれらの施策をより充実させ団員の確保に努めてまいります。

#### (2) 指揮命令系統の一本化

現在、旧市町の枠組みである6つの方面隊により消防団を組織しており、それぞれ災害活動にあたっておりますが、より迅速かつ効率的な指揮命令を行うため、方面隊制の見直し及び指揮命令系統の一本化に向け協議を進めます。

#### (3) 出動区域の見直し

本市消防団においては、社会情勢や就業構造の変化により、消防団員のサラリーマン化が進んでおります。今後もその割合は増加することが予想され、特に日中の災害対応に支障をきたす恐れがあります。そこで、指揮命令系統の一本化と合わせ、旧市町の区域を超えた柔軟で効率的な出動体制を構築し、消防力の維持に努めます。

#### (4) 分団・部の統合等及び消防団員数の見直し

現在多くの分団・部で団員確保に苦慮しています。そこで、地元自治会と消防団の意見をもとに分団・部の統合等を行い、分団・部を支える母体を大きくし、同時に定員を見直すことにより、消防団組織の維持を目指します。ただし、統合等を実施する地域については、消防力を維持するため、消防団の出動体制の強化などの措置を検討します。

また、階級構成に地域差があるため、格差を解消し統一を図ります。

#### (5) 消防団施設等の更新

消防団機械器具置場及び消防団車両は、使用年数の長期化が顕著となっており共に老朽化が進んでいるため、順次更新を行っておりますが、今後も老朽化した施設等の更新を計画的に進めてまいります。

## 2. 消防団組織の再編

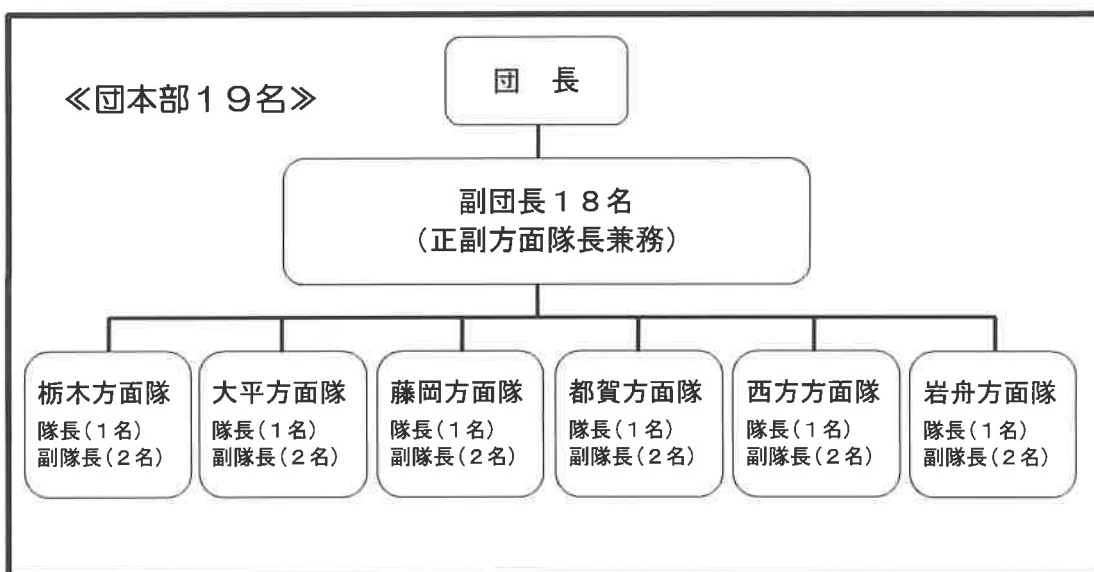
### (1) 指揮命令系統の一本化

指揮命令系統を一本化するため、団本部の体制及び各方面隊の本部分団について見直しを行い、併せて方面隊制の見直しを行います。

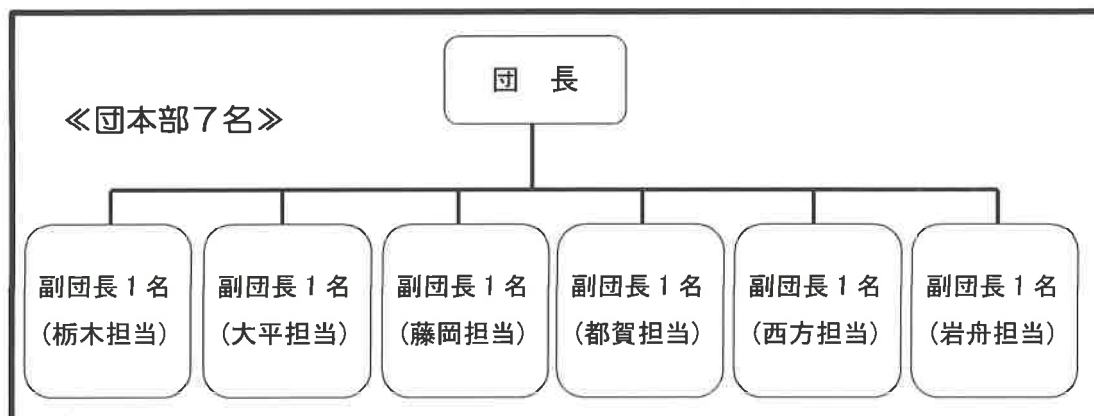
#### ① 団本部体制のスリム化

現在、団長及び副団長18名の合計19名により組織される団本部の体制を、2021年4月1日から団長及び副団長6名の合計7名による体制に見直します。

#### 【現在の団本部体制】



#### 【2021年4月1日からの団本部体制】

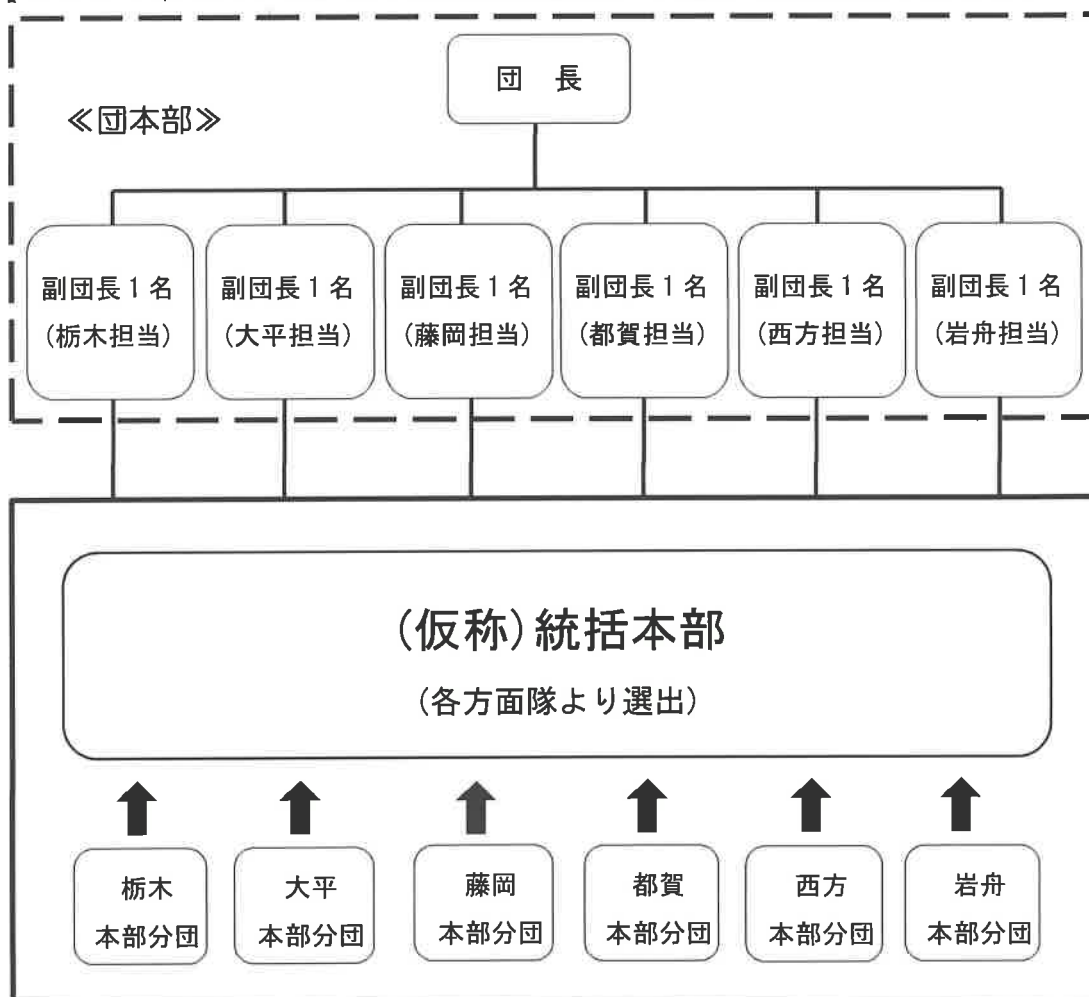


## ② 本部分団の統合

現在、方面隊ごとにある本部分団を統合し、新たに（仮称）統括本部を設置します。

また、現在の本部分団の活動要領等については、方面隊により違いがあるため、効率的な活動ができるよう、統一に向けて再検討します。

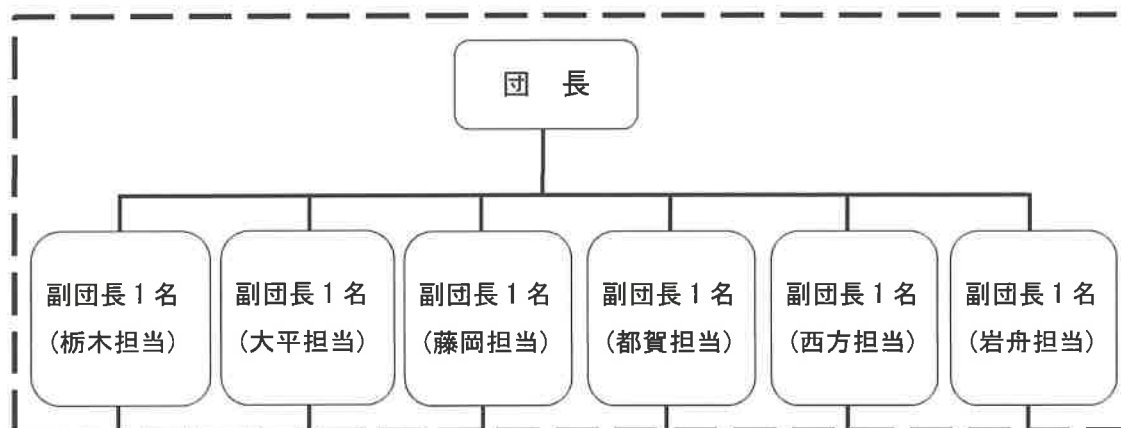
【2021年4月1日からの団本部体制及び（仮称）統括本部体制のイメージ図】



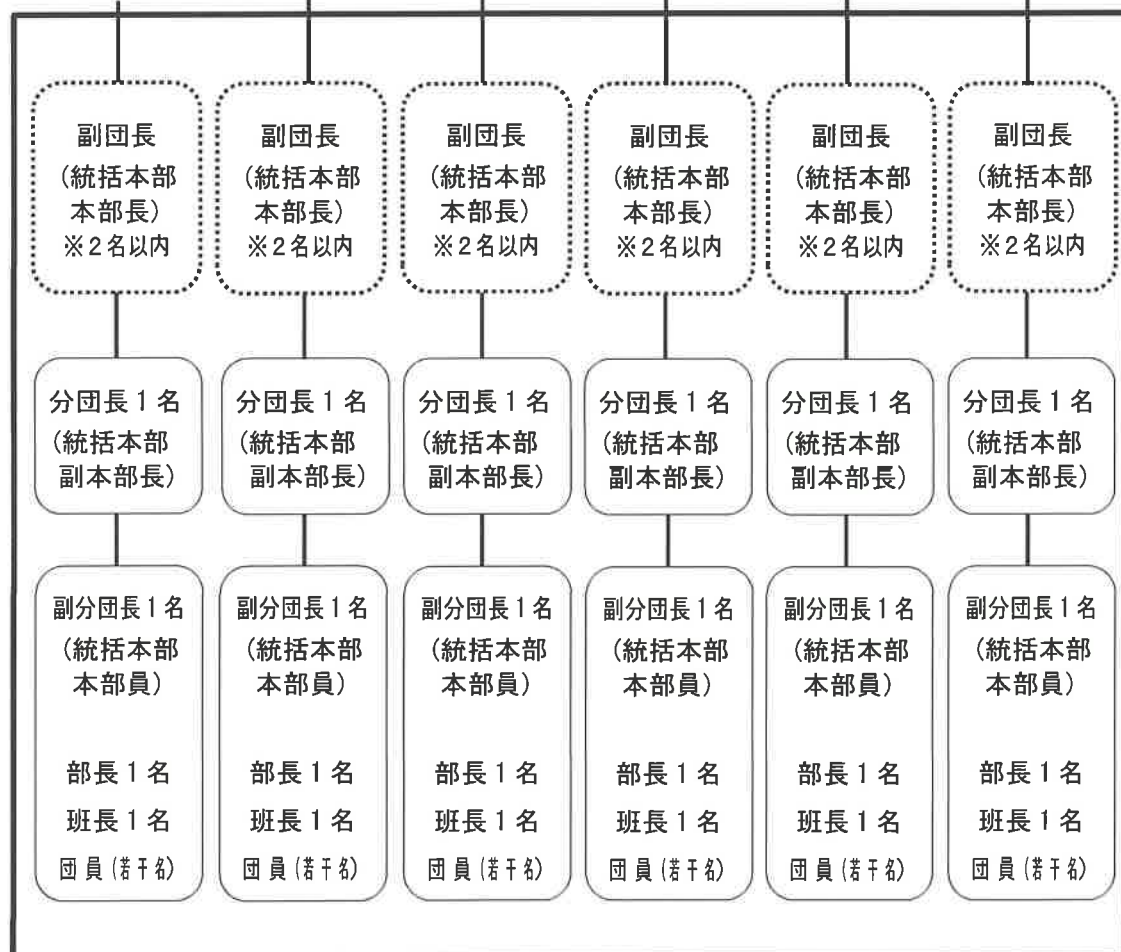
### ③ 経過措置期間中の（仮称）統括本部の詳細

統合による急激な変化を避けるため、2023年3月31日までの2年間に限り組織改編後の経過措置として、現在の各方面隊副隊長を（仮称）統括本部本部長（副団長兼統括本部本部長）とします。

#### 【団本部】



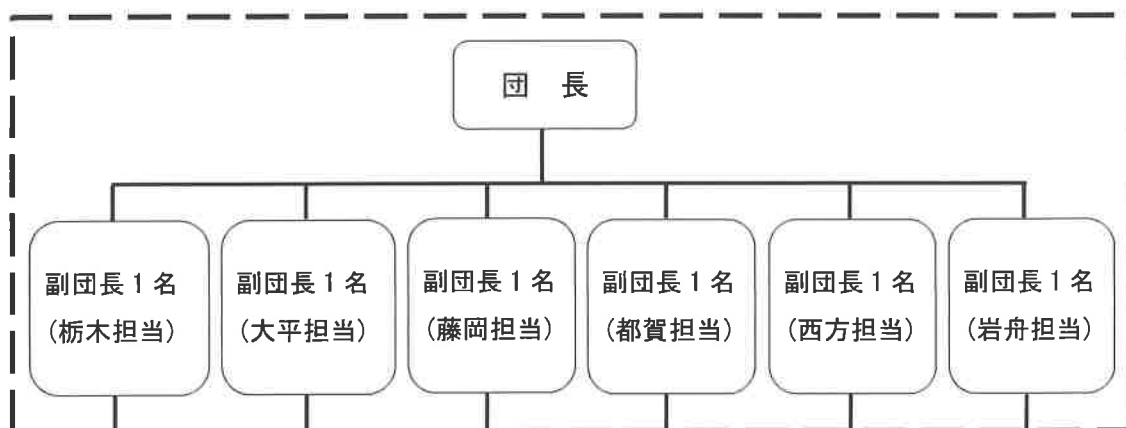
#### 【（仮称）統括本部】



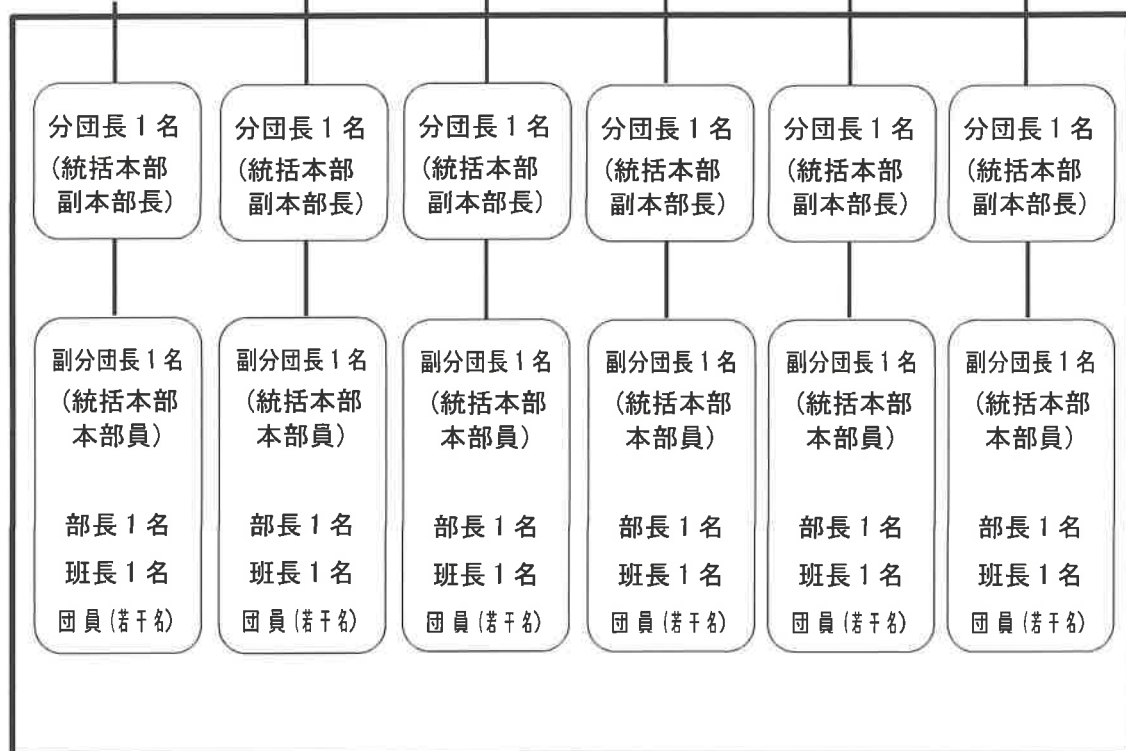
#### ④ 経過措置終了後の（仮称）統括本部の詳細

経過措置終了後の（仮称）統括本部体制として、これまで配置されていた副団長兼統括本部本部長を廃止し、（仮称）統括本部副本部長6名のうちから（仮称）統括本部本部長1名（分団長兼統括本部本部長）を選出し、他の5名の統括本部副本部長については分団長兼統括本部副本部長とします。

##### 【団本部】



##### 【（仮称）統括本部】



※（仮称）統括本部副本部長6名のうちから（仮称）統括本部本部長1名を選出

## (2) 出動区域の見直し

社会情勢や就業構造の変化により消防団員のサラリーマン化が進んでいるなか、消防力を維持するために、合併前の旧市町の枠組みにより6つの方面隊に分かれ、それぞれの区域に出動していた体制を見直します。また、指揮命令系統の一本化と組織の再編に併せ、旧市町の区域を越えた柔軟で効率的な出動体制を構築します。

なお、現在の出動体制については、第1出動、第2出動及び特命出動の3つの出動区分に分かれており、引き続きその体制を継続し、次ページ以降の出動計画を見直します。

### 参考

#### 【出動区分】

第1出動	第2出動	特命出動
火災等の通報内容により消防団の出動が必要と判断した時、または消防署の現場最高指揮者の要請により出動するもの	第1出動を超える消防団の部隊が必要と認められる時、または消防署の現場最高指揮者の要請により出動するもの	第1出動及び第2出動のほか、災害等の状況に応じて出動するもの



現在の出動計画

ア. 栃木方面隊

「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団	泉町・日ノ出町・万町 旭町・室町・倭町	入舟町・祝町・嘉右衛門町・片柳町・河合町・神田町・小平町・境町・城内町・昭和町・菌部町・大町・錦町・沼和田町・箱森町・平井町・平柳町1丁目・富士見町・木町・湊町・柳橋町・今泉町・大宮町・久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・宮田町・平柳町2、3丁目・藤田町	通信指令課から出動指令があった分団・部
第2分団	旭町・室町・倭町・泉町・ 日ノ出町・万町	入舟町・祝町・嘉右衛門町・片柳町・河合町・神田町・小平町・境町・城内町・昭和町・菌部町・大町・錦町・沼和田町・箱森町・平井町・平柳町1丁目・富士見町・木町・湊町・柳橋町・今泉町・大宮町・久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・宮田町・平柳町2、3丁目・藤田町	
第3分団	河合町・境町・沼和田町・ 旭町・神田町・城内町・ 本町	泉町・入舟町・祝町・嘉右衛門町・片柳町・小平町・昭和町・菌部町・大町・錦町・箱森町・日ノ出町・平井町・富士見町・湊町・室町・柳橋町・倭町・万町・大宮町	
第4分団	旭町・神田町・城内町・ 木町・河合町・境町・ 沼和田町	泉町・入舟町・祝町・嘉右衛門町・片柳町・小平町・昭和町・菌部町・大町・錦町・箱森町・日ノ出町・平井町・富士見町・湊町・室町・柳橋町・倭町・万町・平柳町1丁目・今泉町・大宮町・久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・平柳町2、3丁目・藤田町・宮田町	
第5分団	嘉右衛門町・小平町・ 昭和町・大町・箱森町・ 平柳町1丁目	旭町・泉町・今泉町・入舟町・祝町・大宮町・片柳町・河合町・神田町・久保田町・高谷町・境町・城内町・菌部町・仲仕上町・錦町・沼和田町・樋ノ口町・日ノ出町・平井町・平柳町2～3丁目・藤田町・富士見町・木町・湊町・宮田町・室町・柳橋町・倭町・万町・吹上町・細堀町・木野地町・野中町・川原田町	
第6分団	片柳町・菌部町・平井町・ 入舟町・祝町・錦町・ 富士見町・湊町・柳橋町	旭町・泉町・嘉右衛門町・河合町・神田町・小平町・境町・城内町・昭和町・大町・沼和田町・箱森町・日ノ出町・本町・室町・倭町・万町	
第7分団	入舟町・祝町・錦町・ 富士見町・湊町・柳橋町・ 片柳町・菌部町・平井町	旭町・泉町・嘉右衛門町・河合町・神田町・小平町・境町・城内町・昭和町・大町・沼和田町・箱森町・日ノ出町・本町・室町・倭町・万町	
第8分団 第1部	今泉町・大宮町・平柳町2丁 目・平柳町3丁目・久保田町・ 高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・ 藤田町・宮田町	大塚町・国府町・惣社町・大光寺町・田村町・平柳町1丁目・柳原町・寄居町	
第8分団 第2部	今泉町・大宮町・平柳町2丁 目・平柳町3丁目・久保田町・ 高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・ 藤田町・宮田町	大塚町・国府町・惣社町・大光寺町・田村町・平柳町1丁目・柳原町・寄居町	
第8分団 第3部	平柳町1丁目 嘉右衛門町・小平町・昭和町・ 大町・箱森町	旭町・泉町・今泉町・入舟町・祝町・大塚町・大宮町・片柳町・河合町・神田町・久保田町・国府町・高谷町・境町・城内町・惣社町・菌部町・大光寺町・田村町・仲仕上町・錦町・沼和田町・樋ノ口町・日ノ出町・平井町・平柳町2～3丁目・藤田町・富士見町・木町・湊町・宮田町・室町・柳橋町・柳原町・倭町・寄居町・万町	
第8分団 第4部	久保田町・高谷町・仲仕上町・ 樋ノ口町・藤田町・宮田町・今 泉町・大宮町・平柳町2丁目・ 平柳町3丁目	大塚町・国府町・惣社町・大光寺町・田村町・平柳町1丁目・柳原町・寄居町	

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第9分団 第1部	新井町・泉川町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・皆川城内町	梓町・大森町・川原田町・木野地町・千塚町・仲方町・野中町・吹上町・細堀町・宮町	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第9分団 第2部	新井町・泉川町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・皆川城内町	梓町・大森町・川原田町・木野地町・千塚町・仲方町・野中町・吹上町・細堀町・宮町	
第9分団 第3部	新井町・泉川町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・皆川城内町	梓町・大森町・川原田町・木野地町・千塚町・仲方町・野中町・吹上町・細堀町・宮町	
第9分団 第4部	新井町・泉川町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・皆川城内町	梓町・大森町・川原田町・木野地町・千塚町・仲方町・野中町・吹上町・細堀町・宮町	
第10分団 第1部	吹上町・細堀町・木野地町・川原田町・梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町・野中町	新井町・泉川町・皆川城内町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・尻内町・梅沢町・大久保町・鍋山町・星野町・出流町	
第10分団 第2部	川原田町・木野地町・吹上町・細堀町・梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町・野中町	新井町・泉川町・皆川城内町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・尻内町・梅沢町・大久保町・鍋山町・星野町・出流町	
第10分団 第3部	梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町・吹上町・細堀町・川原田町・木野地町・野中町	新井町・泉川町・皆川城内町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・尻内町・梅沢町・大久保町・鍋山町・星野町・出流町	
第10分団 第4部	野中町・梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町・吹上町・細堀町・川原田町・木野地町	新井町・泉川町・皆川城内町・岩出町・大皆川町・小野口町・柏倉町・志鳥町・尻内町・梅沢町・大久保町・鍋山町・星野町・出流町	
第11分団 第1部	尻内町・梅沢町 大久保町・鍋山町 星野町・出流町	梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町	
第11分団 第2部	尻内町・梅沢町 大久保町・鍋山町 星野町・出流町	梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町	
第11分団 第3部	尻内町・梅沢町 大久保町・鍋山町 星野町・出流町		
第11分団 第4部	尻内町・梅沢町 大久保町・鍋山町 星野町・出流町		
第11分団 第5部	尻内町・梅沢町 大久保町・鍋山町 星野町・出流町		
第12分団 第1部	惣社町・柳原町・大塚町・大光寺町・田村町 国府町・寄居町	久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・藤田町・宮田町・今泉町・大宮町・平柳町2丁目・平柳町3丁目	
第12分団 第2部	惣社町・柳原町・大塚町・大光寺町・田村町 国府町・寄居町	久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・藤田町・宮田町・今泉町・大宮町・平柳町2丁目・平柳町3丁目	
第12分団 第3部	惣社町・柳原町・大塚町・大光寺町・田村町 国府町・寄居町	久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・藤田町・宮田町・今泉町・大宮町・平柳町2丁目・平柳町3丁目	
第12分団 第4部	惣社町・柳原町・大塚町・大光寺町・田村町 国府町・寄居町	久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・藤田町・宮田町・今泉町・大宮町・平柳町2丁目・平柳町3丁目	

「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団	泉町・日ノ出町・万町	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第2分団	旭町・室町・倭町	
第3分団	河合町・境町・沼和田町	
第4分団	旭町・神田町・城内町・本町	
第5分団	嘉右衛門町・小平町・昭和町・大町・箱森町	
第6分団	片柳町・菌部町・平井町	
第7分団	入舟町・祝町・錦町・富士見町・湊町・柳橋町	
第8分団第1部	今泉町・大宮町	
第8分団第2部	平柳町2丁目・平柳町3丁目	
第8分団第3部	平柳町1丁目	
第8分団第4部	久保田町・高谷町・仲仕上町・樋ノ口町・藤田町・宮田町	
第9分団第1部	新井町・泉川町・岩出町・大皆川町・小野口町・ 柏倉町・志鳥町・皆川城内町	
第9分団第2部		
第9分団第3部		
第9分団第4部		
第10分団第1部	吹上町・細堀町	
第10分団第2部	川原田町・木野地町	
第10分団第3部	梓町・大森町・千塚町・仲方町・宮町	
第10分団第4部	野中町	
第11分団第1部	尻内町	
第11分団第2部	梅沢町・大久保町	
第11分団第3部	鍋山町	
第11分団第4部	星野町	
第11分団第5部	出流町	
第12分団第1部	惣社町・柳原町	
第12分団第2部	大光寺町・田村町	
第12分団第3部	国府町・寄居町	
第12分団第4部	大塚町	

イ. 大平方面隊

「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団 第1部	富田・西山田・下皆川	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	通信指令課から出動指令があった分団・部
第1分団 第2部	富田・西山田・下皆川	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第1分団 第3部	富田・西山田・下皆川	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第1分団 第4部	富田・西山田・下皆川	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第1分団 第5部	富田・西山田・下皆川	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第2分団 第1部	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	富田・西山田・下皆川・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第2分団 第2部	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	富田・西山田・下皆川・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第2分団 第3部	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	富田・西山田・下皆川・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第2分団 第4部	川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	富田・西山田・下皆川・新・西野田・西水代・伯仲・榎本	
第3分団 第1部	新・西野田・西水代 伯仲・榎本	富田・西山田・下皆川・川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	
第3分団 第2部	新・西野田・西水代 伯仲・榎本	富田・西山田・下皆川・川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	
第3分団 第3部	新・西野田・西水代 伯仲・榎本	富田・西山田・下皆川・川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	
第3分団 第4部	新・西野田・西水代 伯仲・榎本	富田・西山田・下皆川・川連・牛久・横堀・北武井・上高島・下高島・真弓・土与・蔵井	

「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団第1部	富田	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第1分団第2部	富田	
第1分団第3部	富田・西山田	
第1分団第4部	西山田	
第1分団第5部	下皆川	
第2分団第1部	横堀・牛久・北武井	
第2分団第2部	川連・土与	
第2分団第3部	蔵井・真弓	
第2分団第4部	上高島・下高島	
第3分団第1部	西水代	
第3分団第2部	新・西野田	
第3分団第3部	榎本	
第3分団第4部	伯仲	

ウ. 藤岡方面隊

「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団第1部	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	通信指令課から出動指令があった分団・部
第1分団第2部	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	
第2分団第1部	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	
第2分団第2部	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	
第3分団第1部	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	
第3分団第2部	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	
第4分団第1部	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	
第4分団第2部	内野・太田・大田和・甲・下宮・都賀・藤岡	赤麻・石川・大前・帯刀・富吉・中根・西前原・新波・蛭沼・部屋・緑川	

「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団第1部	緑川・新波・部屋・帯刀・石川	通信指令課から出動指令があった分団・部
第1分団第2部	中根・富吉・蛭沼・西前原	
第2分団第1部	藤岡	
第2分団第2部	藤岡・下宮・内野	
第3分団第1部	赤麻	
第3分団第2部	赤麻・大前	
第4分団第1部	甲	
第4分団第2部	都賀・太田・大田和	

## 工. 都賀方面隊

### 「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団 第1部	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	家中・合戦場・升塚・平川	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第1分団 第2部	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	家中・合戦場・升塚・平川	
第2分団	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	家中・合戦場・升塚・平川	
第3分団	家中・合戦場・升塚・平川	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	
第4分団 第1部	家中・合戦場・升塚・平川	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	
第4分団 第2部	家中・合戦場・升塚・平川	木・原宿・深沢・富張・大橋・臼久保・大柿	

### 「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団第1部	木・原宿	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第1分団第2部	富張・大橋・臼久保	
第2分団	大柿・深沢	
第3分団	合戦場・升塚・平川	
第4分団第1部	家中	
第4分団第2部	家中	

才. 西方方面隊

「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団	金崎・金井・本郷	本城・元・真名子	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第2分団第1部	本城・元・真名子	金崎・金井・本郷	
第2分団第2部	本城・元・真名子	金崎・金井・本郷	
第3分団第1部	金崎・金井・本郷	本城・元・真名子	
第3分団第2部	金崎・金井・本郷	本城・元・真名子	
第4分団	本城・元・真名子	金崎・金井・本郷	

「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団	金崎	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第2分団第1部	本城	
第2分団第2部	元	
第3分団第1部	金井	
第3分団第2部	本郷	
第4分団	真名子	



カ. 岩舟方面隊

「建物・中高層・危険物・林野火災」出動計画

分団・部名	第1出動	第2出動	特命出動
第1分団 第1部	五十畑・和泉・静和・ 静戸・曲ヶ島	鷺巣・静・下津原・豊岡 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第1分団 第2部	五十畑・和泉・静和・ 静戸・曲ヶ島	鷺巣・静・下津原・豊岡 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	
第1分団 第3部	五十畑・和泉・静和・ 静戸・曲ヶ島	鷺巣・静・下津原・豊岡 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	
第2分団 第1部	鷺巣・静・下津原・豊岡	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	
第2分団 第2部	鷺巣・静・下津原・豊岡	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	
第2分団 第3部	鷺巣・静・下津原・豊岡	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 新里・三谷・古江・上岡・下岡・小野寺	
第3分団 第1部	新里・三谷・古江・ 上岡・下岡・小野寺	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 鷺巣・静・下津原・豊岡	
第3分団 第2部	新里・三谷・古江・ 上岡・下岡・小野寺	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 鷺巣・静・下津原・豊岡	
第3分団 第3部	新里・三谷・古江・ 上岡・下岡・小野寺	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 鷺巣・静・下津原・豊岡	
第3分団 第4部	新里・三谷・古江・ 上岡・下岡・小野寺	五十畑・和泉・静和・静戸・曲ヶ島 鷺巣・静・下津原・豊岡	

「その他の火災」出動計画

分団・部名	第1出動	特命出動
第1分団第1部	五十畑・和泉・静和	通信指令課から出動指令があつた分団・部
第1分団第2部	静戸	
第1分団第3部	曲ヶ島	
第2分団第1部	鷺巣・静（駒場）	
第2分団第2部	静（駒場を除く）	
第2分団第3部	下津原・豊岡	
第3分団第1部	新里・三谷	
第3分団第2部	古江・上岡・下岡	
第3分団第3部	小野寺（中・下）	
第3分団第4部	小野寺（上）	

### (3) 分団・部の統合等及び消防団員数の見直し

#### ① 部の統合等や人員の見直し

人口減少や若年層の流出などにより消防団員の確保が難しいことから、対策として、消防団組織の維持が困難な地域については、近接する部との統合または再編をすることとしました。また、定員の確保に苦慮する地域については、定員の削減を検討することとしました。

以上のことを踏まえ、今回の再編計画においては、該当する分団と自治会の意見を取り入れ下記のとおりとします。

なお、計画期間内に団員の確保が困難になるなど実情に変化があった分団・部については、統合などについて別途協議を行うものとします。

#### 【統合等や定員を検討する分団・部】

方面隊	検討分団・部	摘要
栃木方面隊	第11分団第3部・第5部	2018年（平成30年） 4月1日に統合予定
	第12分団	4部制を3部制に統合又は再編する その他の分団・部については今後必要に応じて検討する
大平方面隊	—	今後必要に応じて検討する
藤岡方面隊	—	今後必要に応じて検討する
都賀方面隊	—	今後必要に応じて検討する
西方方面隊	—	今後必要に応じて検討する
岩舟方面隊	第3分団第3部・第4部	2018年（平成30年） 4月1日に統合予定 その他の分団・部については今後必要に応じて検討する

## ※基本人数について

今後、多くの分団・部において団員の確保が困難になることが予想されるため、人数調整後の各分団・部の基本人数を次の算出方法により13名とし、これを基本人数とします。

このため、計画期間内に、分団・部の団員の確保が困難になり基本人数を下回った場合は、分団・部の統合等について検討します。

なお、現時点で分団・部の消防団員数が基本人数を下回っていても、地域の実情により活動が可能であれば、その人数とします。

### 算出方法

各消防車両1車両を運用するために最低限必要な人員を4名とし、昼間に必要人員4人を確保するため、参集することが難しい被雇用者を除いた団員比率により算出すると

$$4 \text{ 名} \div 28.9\% \text{ (被雇用者以外の団員比率)} = 13.84 \\ \underline{\underline{\div 13 \text{ 名}}}$$

団員の被雇用者率：71.1% (平成28年度 栃木市消防団)

## ② 階級構成の地域格差の解消

各分団の階級構成については、分団長以下、副分団長、部長、班長、団員となっております。

現在、各方面隊により階級構成の人数に格差がありますが、これは消防団組織の発足当時からそれぞれ地域の実情により決められたものであると推察されます。

今回、指揮命令系統の一本化を行う中で、本部分団の統合に合わせ、各分団・部の組織における部長、班長の人数について、下記の基準により統一します。

なお、階級構成の人数を統一することで著しく災害対応等に支障をきたすことがある場合は、地域の実情により、人数の調整について検討します。

### 統一基準

部長：部が無い分団	1名
部がある分団	各部に1名
班長：団員15名以下	1名
団員16名以上	2名
団員30名以上	3名

#### (4) 組織再編についての協議スケジュール

##### ① 指揮命令系統の一本化

計画策定後、2018年度（平成30年度）より協議を開始し、2020年度中に条例改正を行い、2021年4月に施行します。

##### ② 出動区域の見直し

計画策定後、2018年度（平成30年度）からの分団・部の統合に向けた協議が進んだ時点で旧市町の区域を越えた出動区域の見直しを行い、2021年4月から新しい出動区域での運用を開始します。








##### ③ 分団・部の統合等・消防団員数の見直し

計画策定後、2018年度（平成30年度）より協議を開始し、2020年度中に条例改正を行い、2021年4月に施行します。

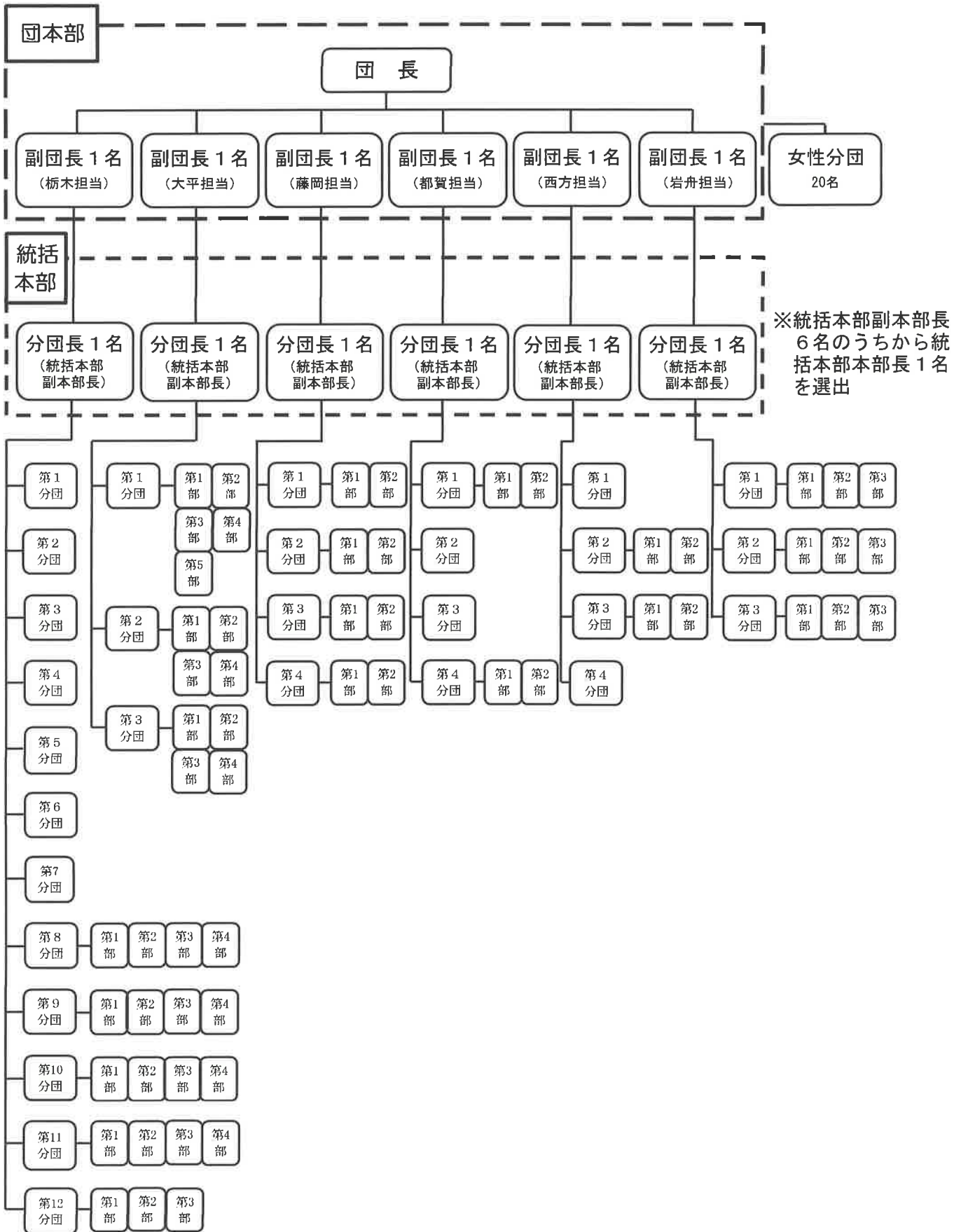
【組織再編スケジュール：栃木市消防団全体】

年度 区分	2018 (平成30年度)	2019	2020	2021	2022
指揮命令系統の一本化	* 方面隊制見直しについての協議 * 本部分団の統合についての協議	→	* 条例等の整備	* 4月1日より新体制	* 本部分団統合の経過措置終了
出動区域の見直し	* 出動区域の見直しについての協議	→	* 条例等の整備	* 4月1日より新体制	

【組織再編スケジュール：方面隊別】

年 度 方面隊	2018 (平成30年度)	2019	2020	2021
栃木方面隊	*第11分団第3部と第5部を統合 *4月1日より新体制			
	*第12分団を4部制から3部制に統合または再編の協議		*条例等の整備	*4月1日より新体制
	*その他の分団・部については今後必要に応じて検討する			
大平方面隊	*今後必要に応じて検討する			
藤岡方面隊	*今後必要に応じて検討する			
都賀方面隊	*今後必要に応じて検討する			
西方方面隊	*今後必要に応じて検討する			
岩舟方面隊	*第3分団第3部と第4部を統合 *4月1日より新体制			
	*その他の分団・部については今後必要に応じて検討する			

【2021年4月1日からの組織図】



### 3. 施設等の維持管理

#### 【消防団機械器具置場】

消防団機械器具置場については、昭和56年以前の旧建築基準法の基準で整備されたものが14箇所あり、老朽化が進んでいます。また、団員が災害等で参集した際の駐車場が確保されていないなどの課題も多くあることから、今後の再編の動向及び本市の公共施設のあり方ガイドラインを考慮し、将来を見据えた効率的な更新等を進めます。

また、統合等を行った分団・部が使用する機械器具置場については、地元自治会及び消防団の意見を取り入れながら、地理的条件、機械器具置場の状況及び築年数を考慮し使用することとします。

なお、統合等により使用しない機械器具置場については、原則廃止とします。

#### 【消防団車両】

消防団車両については、所有する車両83台について、使用年数が年々長くなる傾向にあります。経年劣化した車両の更新を図り有事に備えるため、栃木市消防団車両更新計画により計画的に更新を進めます。

なお、分団・部の統合等に際しては、使用年数の長期化による故障の増加などを考慮し、使用年数の少ない車両を優先的に使用することとし、使用しない車両については原則廃車とします。

#### 【消防団機械器具置場】



#### 【消防団車両】



栃木市消防団再編計画

2018年（平成30年）2月策定

栃木市

栃木市消防本部消防総務課